

山元町議会
議長 岩 佐 哲 也 殿

常磐自動車道建設促進特別委員会
委員長 遠 藤 龍 之

常磐自動車道建設促進特別委員会報告書

本特別委員会は、下記のとおり調査及び審査をしたので、山元町議会会議規則第76条の規定により報告します。

記

- 1 事 件 常磐自動車道建設に関する調査、審査について
- 2 期 間 令和元年11月13日から令和5年9月20日まで
- 3 総 括

本特別委員会は、常磐自動車道の整備促進に係る様々な課題の把握に努めるとともに、現状の課題の解消に資するべく、関係機関との意見交換や調査活動を実施してきた。

常磐自動車道は、高規格幹線道路により形成される高速道路ネットワークとして、流通や観光による経済効果をもたらし、地域間交流を活性化させるなど、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するための地方創生を支える重要な社会基盤となっている。

さらに、救急患者の搬送時間の短縮により、広域救急医療を支えるほか、震災などの災害発生時には、救援や復旧活動のための緊急輸送路として使用されるなど、「命の道」としての役割も果たしている。

しかし、今後のまちづくりや地域振興、及び災害発生時など、更なる多大な効果が期待される「常磐自動車道全線4車線化」は、事業許可がされたものの、未だ整備は完了していなく、自動車専用道路としての効果が最大限に発揮されていない状況でもある。

よって、本特別委員会は、この報告をもって終了とするが、引き続き、本町、並びに本町議会は、関係市町村、並びに関係市町村議会と連携を図りながら、「常磐自動車道全線4車線化」の早期整備に向け、必要財源の確保や施策の充実強化などを、これからも継続的に国等へ働きかけを行うこととし、本町、並びに関係市町村の発展に資するべく全力を傾注する必要がある。